

防火会報 2020

(一社)田川地区防災協会

NO.46

- 発行 一般社団法人 田川地区防災協会
- 発行人 江藤 正剛
- 印刷 有川崎印刷 ☎42-8420

毎月1日は
防災の日です



(一社)田川地区防災協会シンボルマーク



●令和元年度 全国統一防火標語

ひとつずついいね!で確認火の用心

●令和元年度 危険物安全週間推進標語

無事故への備え一分の隙も無く

主な
記載記事

定時総会……………3

実施した防災事業…4

田川地区の
火災・救急件数……5

[令和元年度 田川地区消防本部 防災作品]

消防長賞 添田町立添田中学校 3年 中畑 涼さん

謹んで新年のお慶びを 申し上げます



一般社団法人
田川地区防災協会
会長 江藤 正剛

輝かしい令和2年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員の皆様方におかれましては、平素から格別の御支援とご協力を賜り衷心よりお礼を申し上げます。

昨年の5月28日に開催されました令和元年度一般社団法人田川地区防災協会定時総会におきまして、図らずも皆様のご推挙をいただき会長に就任いたしました。この責任の重さを感じているところでございます。もとより微力でございますが、これまでの副会長としての経験を活かし、協会の発展に決意と情熱をもって取り組み所存であります。

本協会の二場前会長は、田川地区の地域防災活動に多くの業績を残され、そのご功績に對しましては本紙面をお借りして敬意と感謝を申し上げます。さで、昨年を振り返りますと、九州北部では秋雨前線の影響で線状降

水帯が発生し、8月28日を中心とした大雨により、佐賀県では広範囲にわたり冠水被害をもたらしました。9月には台風15号が猛威をふるい、千葉県を中心に被害が発生し、更に、10月には台風19号が大型で強い勢力を保ったまま東海地方から東北地方を縦断し、記録的な強風や大雨をもたらした。多くの河川で堤防が決壊し、浸水や土砂崩れの被害により多数の死傷者がでました。

このように、いつ発生するか分からない自然災害に對し被害を軽減するためには、日頃からの防災対策を行い、一人一人が自分の身の安全を守るため早期に避難すると共に、地域や身近にいる人がお互いに助け合うことが重要となります。

今後とも、田川地区消防本部・署はもとより、各関係機関と協力し、「自分たちの地域や職場は、自分たちで守る」という意識のもとに、会員が一丸となり地域防災推進のため尽力し、災害のない安全なまちづくりに貢献していきたいと考えています。

終わりになりましたが、本年が災害のない平穏な一年でありますとともに、会員の皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



田川地区消防本部
消防長 浦野 洋一郎

令和2年の新年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人田川地区防災協会会員の皆様方におかれましては、平素から消防行政に對しご理解並びにご尽力を賜り深く御礼申し上げます。

昨年は、5月28日の定時総会で役員改選が行われ、二場前会長がご勇退されましたが、防災協会の多大なる発展向上に貢献されましたことに衷心より感謝を申し上げます。

また、今回の役員改選により新会長に就任されました江藤会長をはじめ、役員になられました皆様には、田川地区消防本部へのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、8月は九州北部において豪雨による冠水被害、9月には台風15号が発生、更に10月には台風19号が発生し東日本各地で記録的な大雨による甚大な被害と多くの犠牲者をもたらしました。

火災においては、10月31日未明に沖縄県の首里城で火災が発生し、一夜にして貴重な財産が失われました。田川地区管内では大規模な火災や災害は発生しておりませんが、近年

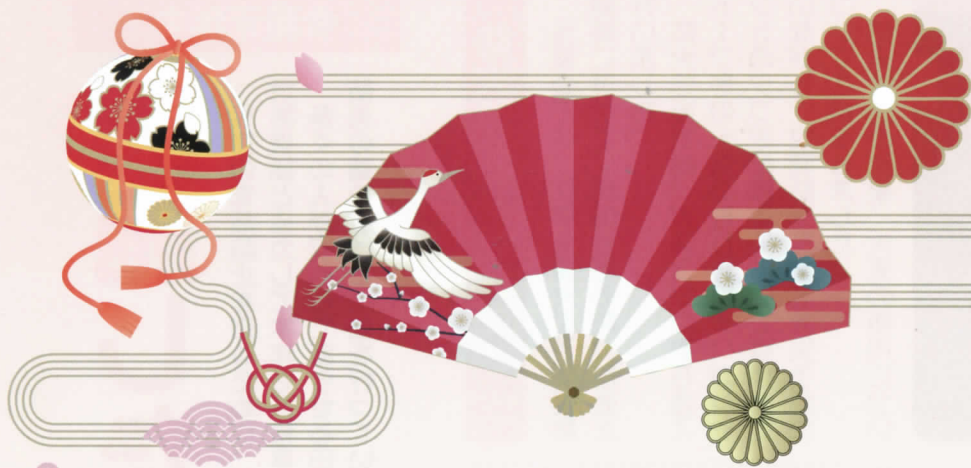
は全国的に想定外といわれる自然災害が相次いで発生しており、いつどこで起きるか予測がつかないため、未然防止対策と災害発生時の拡大防止を講じるために一般社団法人田川地区防災協会、消防本部及び消防署、消防団、構成市町村、各防災関係団体との防災体制のもと、各種訓練等を行い、関係強化を図っております。

「自分たちの地域や職場は自分たちで守る」という理念のもとに、伝統ある貴協会との連携を密にして、住民に對して防災知識の普及、啓発に努めていく所存であります。

消防本部といたしましては、女性消防吏員の採用や老朽化した消防庁舎の整備などソフト・ハード両面から充実させ、「災害の無い街、田川・住みやすい街、田川」をめざし、地域住民の期待にこたえられるよう全力をあげて取り組んでまいります。

終わりに、貴協会の益々のご発展と会員皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年の挨拶いたします。





総会

令和元年度の定時総会が、令和元年5月28日(火)ザ・ブリティッシュヒルズにおいて開催されました。平成30年度収支決算、役員の変更などの上程された議案はすべて議決されました。また、議案審議に先立ち防災功労による表彰の授与も行われました。



令和元年度総会は、多数の来賓を迎え開催されました。議決された内容は次のとおりです。

- 一 平成三十年度決算等の承認について
- 二 役員の選任について



防災功労表彰を受けられた方は次のとおりです。

防災功労表彰「会長表彰」

●優良危険物取扱者

久本 実(山栄石油方城給油所)
藤井 勇(香春石灰化学工業(株))
崎山 京(株崎山組)

●優良消防設備士

大場 幸弘(株大場工業)

●優良防火管理者

中原 俊博(社会保険田川病院)
吉田 久志(特養長寿園)
野村 嘉(NTK(株))

●優良業務主任者

吉田 寿幸
(イワタニ九州(株)下田川ガス営業所)

●防火優良事業所

ヤマキ産業
(株)ハシモト
香春鋳業(株)

●優良消防設備業者

恒政工業

今年度役員の改選で新たに選任された理事は次のとおりです。
(順不同敬称略)

代表理事(会長)

江藤 正剛(江藤石油)

理事(副会長)

田中 睦久(国際芸芸(株))

理事

野田 大介(有石見商会)
楠原 憲治(日本フィルタ工業(株))

(医)恵和会 田川慈恵病院
障害者支援施設 月の輪苑
西本町地区
日本郵便(株)田川東町郵便局





防火診断を実施
当協会では、秋季全国火災予防運動期間に併せて、高齢者宅の防火診断を行いました。
防火診断では、ガスコンロや石油ストーブ等の火気の取り扱いや、コンセントのタコ足配線等について点検を行いながら、世間話を交えて火災予防についての話をしました。



では良好でありましたが、コンセントのタコ足配線やプラグの接続が不完全なものが見られたためトラッキングの危険性を説明し、必要な器具だけを接続するようにお願いしました。
また、寝室に住宅用火災警報器の未設置も数世帯あったため、住宅火災による死者の発生原因は、就寝中に気づくのが遅れたことによる逃げ遅れが多いことを説明し、寝室や階段上部に取り付けるようお願いしました。

令和元年中

実施した防災事業

災害の未然防止を図るために、消防機関と協力して本年も各種事業を実施しました。
多くの人が安心して暮らせる田川を目指して、防災の輪を広げる活動を行っています。



このように高齢者宅の防火診断は、火災予防に大変成果が上がっている事業です。

毎年のように日本各地で地震、豪雨災害や火山噴火等の自然災害が多く発生していることを受け、当協会から災害時に乾電池がなくても発電して利用できるラジオ付電波時計を贈呈しました。

危険物取扱者試験 受験準備講習会を実施



当協会では、毎年3回実施される危険物取扱者試験の受験者を対象とした受験準備講習会を実施しています。
受講者は、次のとおりです。

2月9日(土) ... 15名
6月1日(土) ... 12名
10月5日(土) ... 16名



危険物取扱者 保安講習を実施



危険物を取り扱う業務に従事する危険物取扱者は、3年に1度の保安講習の受講が義務付けられています。
今年度の筑豊地区は、田川地区消防本部で実施され、県内各地から多数の危険物取扱者が受講しました。
受講者は、次のとおりです。

10月2日(水) 給油取扱所 103名
その他 95名
10月3日(木) 給油取扱所 55名
その他 98名

役員視察研修

令和元年度の役員視察研修を9月20日に実施し、14名の役員と消防長及び事務局4名が参加しました。

今年度は、長崎県西海市大島町の大島造船所を視察しました。

大島造船所は、炭鉱閉山後に大島町が誘致した企業であり、今では大島町の経済と雇用を担っているとのことでした。

造船所の見学は、係員が貸切バスの中から説明を行いながら実施されました。個別に組み立てられた貨物船の各部



位が、最終的に一つになっていく工程を見学することができました。

場内では、数百トンもの部位を移送する運搬車両や自転車で移動する作業員が事故もなく行き交い、安全管理が徹底していると感じました。

参加した理事からは、貴重な見学ができ、よい研修になったとの声を頂きました。

火災予防運動を協賛

3月・11月

当協会では、春季及び秋季の火災予防運動の協賛を行なっています。



平成31年3月4日(月) 田川市のサン

リブ田川で宝保育園(田川市)

が、3月5日

(火) 川崎町の川食食彩館で緑

保育園(川崎町)が防火演奏を実施しました。「保育

園児は、大きな声で防火の誓いを行いその後、防火演奏を行なった保育所等に記念品を贈りました。」

今後も幼年期からの火災予防啓発を



田川地区の火災・救急件数

	 火災件数	 救急件数
平成27年	97件	7,681件
平成28年	52件	7,807件
平成29年	74件	7,461件
平成30年	64件	7,697件
平成31年(令和元年)	78件	7,612件

実施していくこととしています。

田川地区消防本部は、平成31年11月10日(日) 田川郡大任町の道の駅おとう桜街道にて、「たがわ消防フェスタ」を、地域住民の皆様に防火・防災に対する関心を深めて頂き、より消防を身近に感じて頂くことを目的に、「消防・防災について見る、体験する、学ぶ。それこそ、災害ゼロへの第一歩です」をテーマとして実施しました。当協会はこの事業に協賛し、会長による開会宣言や受付、また、リーフレット配布等の火災予防啓発を行ないました。

お 知 ら せ

令和2年度の各種資格取得試験及び講習会の予定をお知らせします。
会場の都合により変更する場合がありますため、事務局で確認して下さい。

●危険物取扱者試験

第1回 令和2年6月下旬頃
〔願書受付期間〕

第2回 4月中旬から4月下旬まで
令和2年10月下旬頃
〔願書受付期間〕

第3回 8月下旬から9月上旬まで
令和3年3月上旬頃
〔願書受付期間〕

協会では、それぞれの試験日にあわせて、乙種4類の受験準備講習会を実施する予定です。
危険物取扱者試験は、県内4会場で

実施されますが、筑豊地区は田川市の福岡県立大学が会場になります。

●消防設備士試験

第1回 福岡市・田川市
令和2年7月中旬頃

第2回 北九州市
令和2年7月下旬頃

第3回 福岡市・田川市
令和2年12月中旬頃

●危険物取扱者保安講習

令和2年10月中旬頃

筑豊地区会場は、飯塚市（飯塚地区消防本部）を予定しています。
受講者はいずれかの日に3時間の受講が必要で、危険物取扱作業に従事している次のような人が受講対象となります。

①継続して危険物取扱作業に従事している方は、前回の講習を受けた日以後の最初の4月1日から3年以内。

②新たに又は再び従事する方は、従事することとなった日から1年以内。
ただし③に該当する方は③による。
③過去2年以内に免状の交付又は講習を受けている方は、免状の交付又は受講した日以後の最初の4月1日から3年以内。
※危険物取扱作業に従事していない人は受講の必要はありません。

●消防設備士法定講習

令和2年9月～12月（未定）

消火設備 1日

警報設備 1日

避難設備 1日

筑豊地区の会場は、宮若市を予定しています。
受講対象者は、次のとおりです。

①消防設備士免状の交付を受けた日から2年以内の人
②前回の講習を受けた日から5年以内の人

●防火管理講習会

消防法により建物の所有者などの管理権原者は、火災から人命を守るために防火管理者を定め、防火管理業務を行わなければならない。この防火管理者の資格は、2日間の講習を受けることにより取得できます。

①田川地区消防本部

令和2年6月中旬頃

②直方市中央公民館

令和2年5月27日・28日（予定）

③イヅカ コスモスモン

令和3年2月25日・26日（予定）

一般社団法人
田川地区防災協会
へのお問合せ

事務局 田川市大字川宮1570番地
田川地区消防本部予防課内

☎0947-44-0650(内線133)
☎0947-44-6256(直通電話)

編 集 後 記

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

この会報も今回で第46号となりました。会報発行にあたり会員の皆様にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。本年もよろしくお願い致します。

事務局長 浦田 英仁 事務局 田中 清文
事務局 木下 遥平 事務局 蜷川 朋之